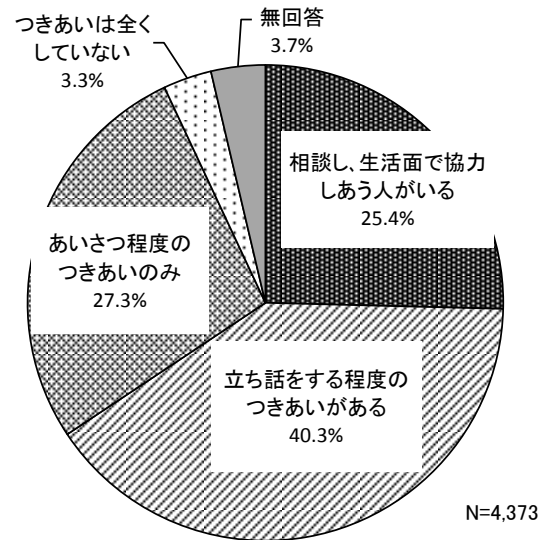


4 | 佐久穂町での暮らしについて 《個人票》

《1》 ご近所づきあいの状況について

問2-1 あなたのご近所づきあいの状況について、以下から選んで下さい。(1つ〇で選択)

	回答数(人)	割合(%)
相談し、生活面で協力しあう人がいる	1,111	25.4
立ち話をする程度のつきあいがある	1,761	40.3
あいさつ程度のつきあいのみ	1,196	27.3
つきあいは全くしていない	144	3.3
無回答	161	3.7
合計	4,373	100.0

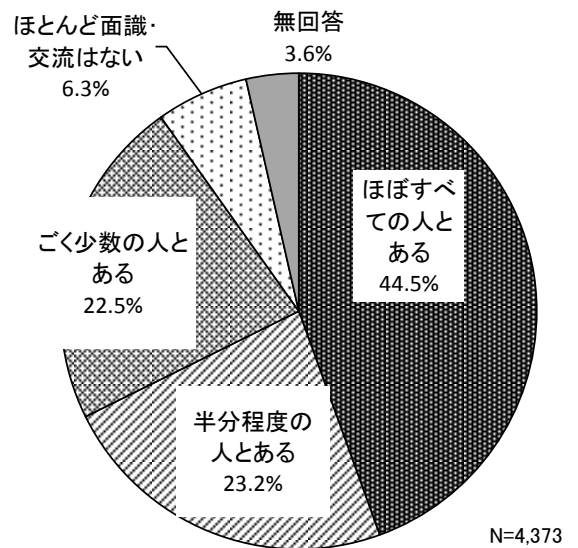


ご近所づきあいの状況については、程度の差はあるものの、何らかのつきあいがある住民が9割以上を占め、そのうち「互いに相談し、生活面で協力しあう人がいる」との回答は25.4%となっている。

《2》 ご近所との面識・交流の状況について

問2-2 ご近所の方々と面識・交流の状況について、以下から選んで下さい。(1つOで選択)

	回答数(人)	割合(%)
ほぼすべての人とある	1,945	44.5
半分程度の人とある	1,015	23.2
ごく少数の人とある	983	22.5
ほとんど面識・交流はない	274	6.3
無回答	156	3.6
合計	4,373	100.0

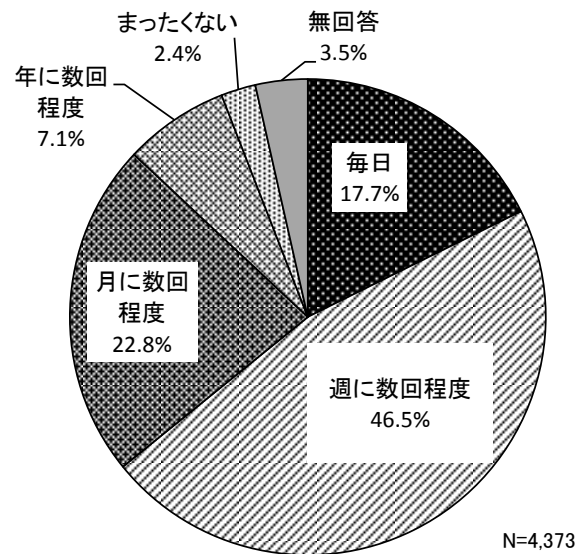


近所の方との面識・交流については、面識・交流がある住民が9割を占め、「ご近所のほぼすべての人と面識・交流がある」との回答は44.5%となっている。

《3》 ご近所とのあいさつの頻度について

問2-3 ご近所の方々とのあいさつの頻度(ひんど)について、以下から選んで下さい。(1つ〇で選択)

	回答数(人)	割合(%)
毎日	773	17.7
週に数回程度	2,033	46.5
月に数回程度	997	22.8
年に数回程度	312	7.1
まったくない	103	2.4
無回答	155	3.5
合計	4,373	100.0



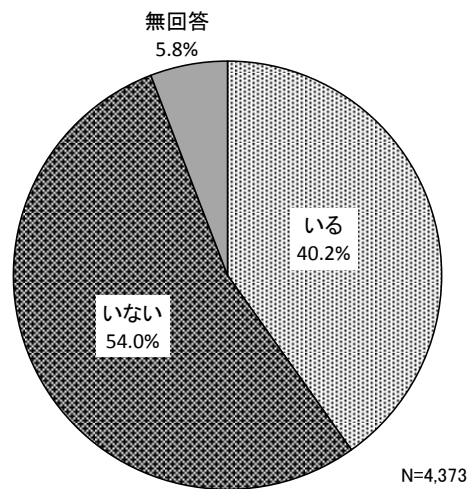
近所の方とのあいさつの頻度については、「週に数回程度」ある住民が 46.5%と半数近くを占める一方で、「月に数回程度」「年に数回程度」しかない住民も 3 割近くいる結果となっている。

《4》 ご近所との関係について

問2-4 ご近所の方々との関係について、以下から選んで下さい。(それぞれ1つ〇で選択)

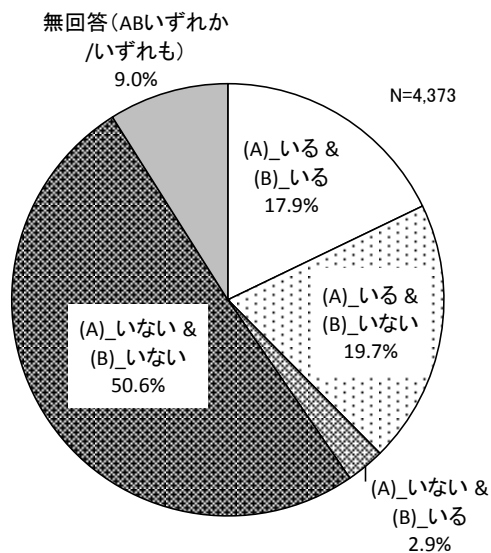
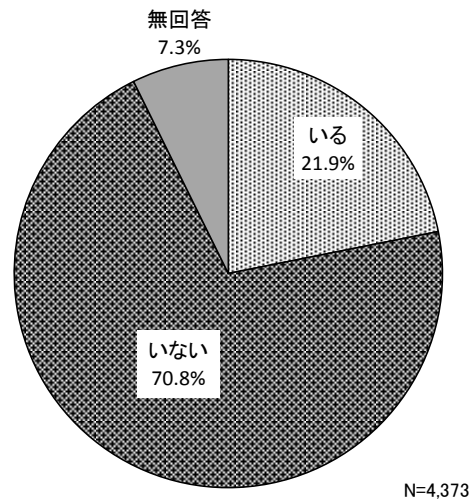
(A) 心配事等を聞いてくれる人の有無

	回答数(人)	割合(%)
いる	1,757	40.2
いない	2,361	54.0
無回答	255	5.8
合計	4,373	100.0



(B) 病気時に看病や世話をしてくれる人の有無

	回答数(人)	割合(%)
いる	956	21.9
いない	3,098	70.8
無回答	319	7.3
合計	4,373	100.0

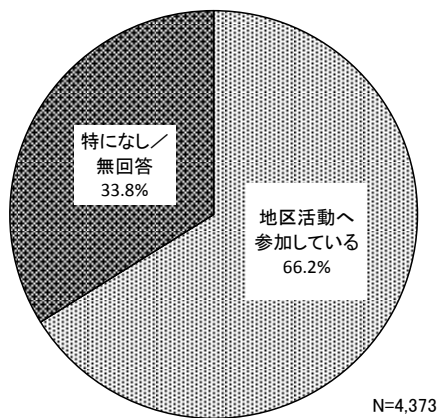
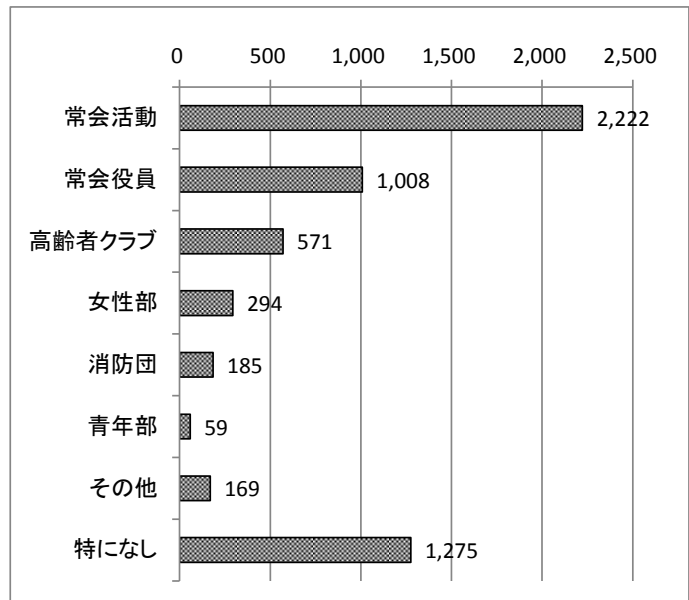


近所に「心配事やグチを聞いてくれる人」がいる住民は 40.2%いるが、「病気にかかった時に看病や世話をしてくれる人」となると、「いる」と回答した住民は 21.9%と低くなり、「どちらもいない」という住民が 50.6%という結果となっている。いざという時に助け合える地域コミュニティの形成が必要であると言える。

《5》 地区活動への参加状況について（複数回答）

問2-5 地区活動への参加状況について、以下から選んで下さい。（複数〇で選択可）

	回答数
常会活動	2,222
常会役員	1,008
高齢者クラブ	571
女性部	294
消防団	185
青年部	59
その他	169
特になし	1,275
合計	5,783



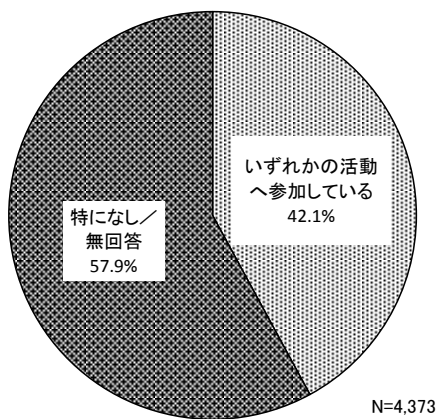
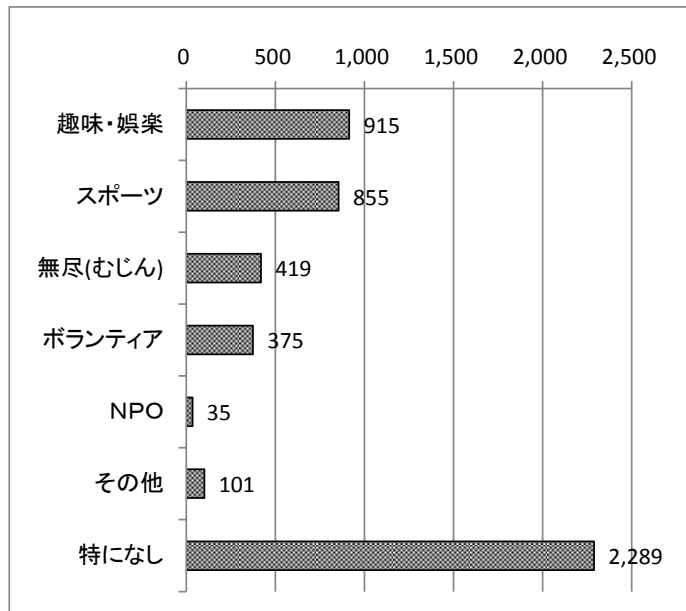
地区活動への参加状況については、66.2%の住民がいずれかの地区活動に参加しているという結果となっている。

活動内容は、常会活動が最多である。

《6》 活動への参加について（複数回答）

問2-6 日ごろ、以下の活動へ参加されていますか。（複数○で選択可）

	回答数
趣味・娯楽	915
スポーツ	855
無尽(むじん)	419
ボランティア	375
NPO	35
その他	101
特になし	2,289
合計	4,989

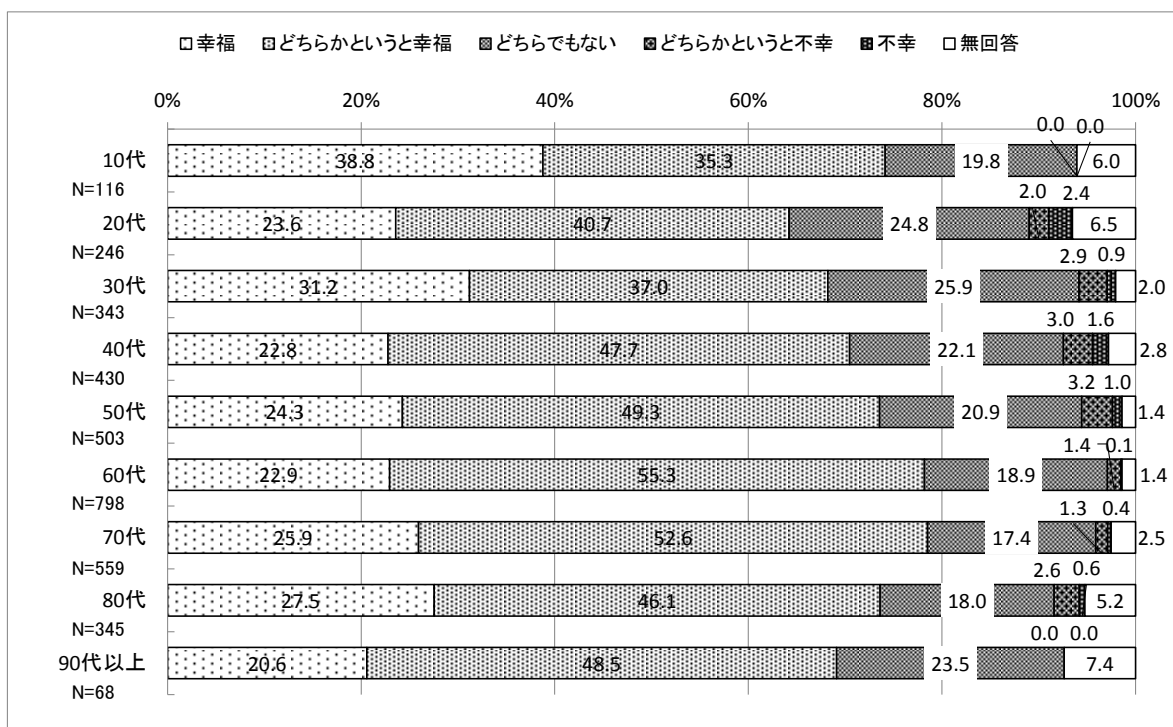
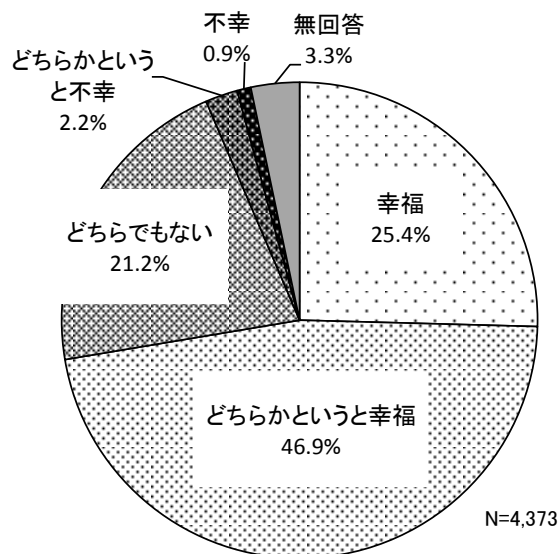


余暇や趣味への参加状況については、57.9%の住民が特に活動していない/無回答という低い参加状況となっている。

《7》現在の暮らしの幸福度

問2-7 現在の暮らしを幸福だと感じていますか。(1つOで選択)

	回答数(人)	割合(%)
幸福	1,112	25.4
どちらかという和幸福	2,052	46.9
どちらでもない	928	21.2
どちらかというと不幸	96	2.2
不幸	41	0.9
無回答	144	3.3
合計	4,373	100.0



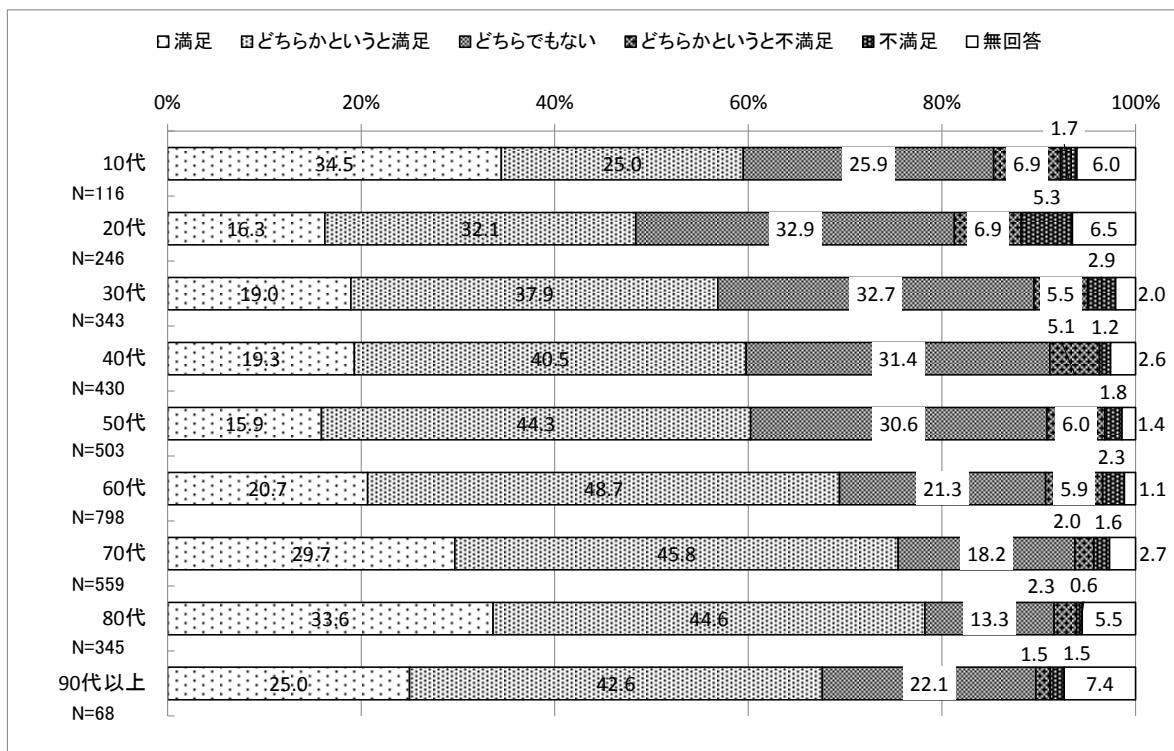
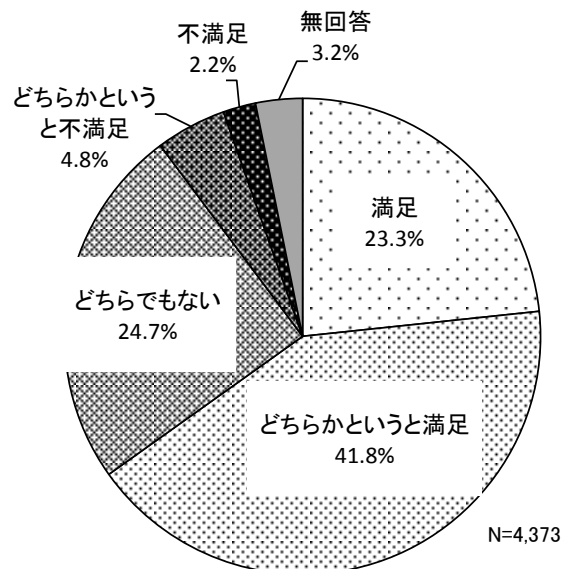
現在の暮らしを「幸福」「どちらかという和幸福」と感じている住民は、72.3%となっている。年代別でも大きな差は見られないが、60～70代の幸福度が最も高くなっており、高齢者の生活の充実感が伺える。

20代で、比較的「幸福」が低く、「不幸」が高い。

《8》現在の暮らしの満足度

問2-8 現在住んでいる地区での暮らしに満足していますか。(1つOで選択)

	回答数(人)	割合(%)
満足	1,020	23.3
どちらかという満足	1,829	41.8
どちらでもない	1,078	24.7
どちらかという不満足	210	4.8
不満足	97	2.2
無回答	139	3.2
合計	4,373	100.0



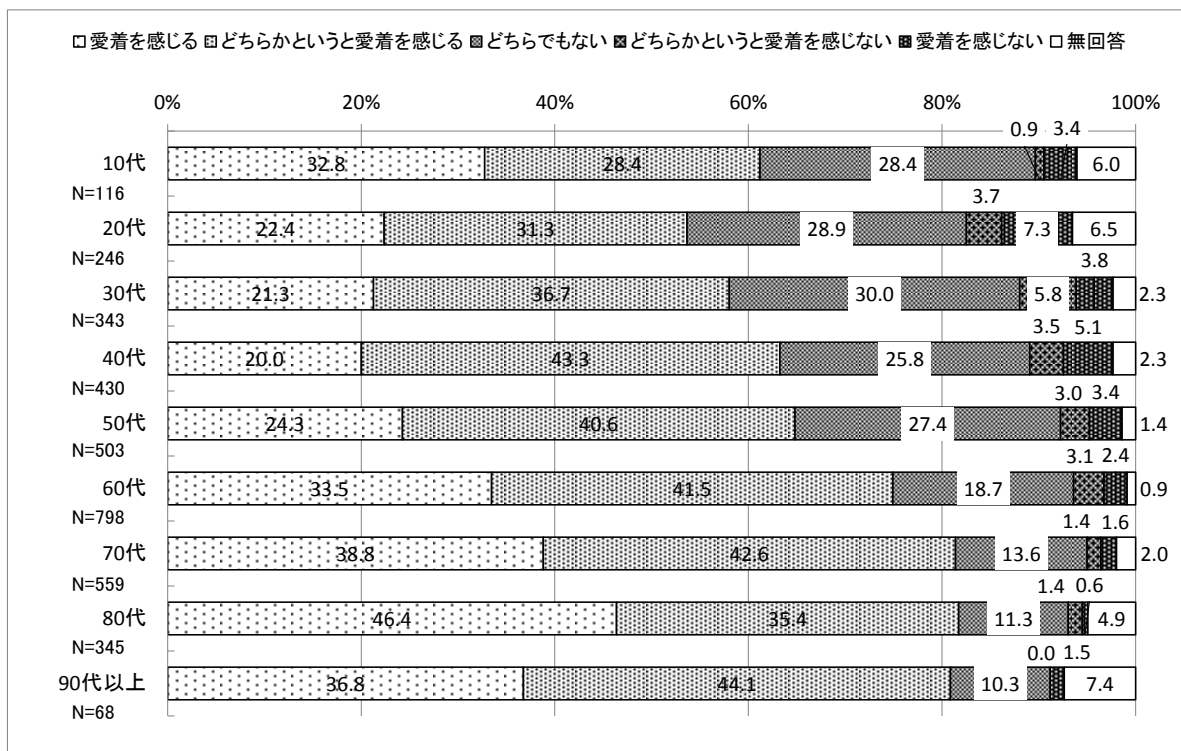
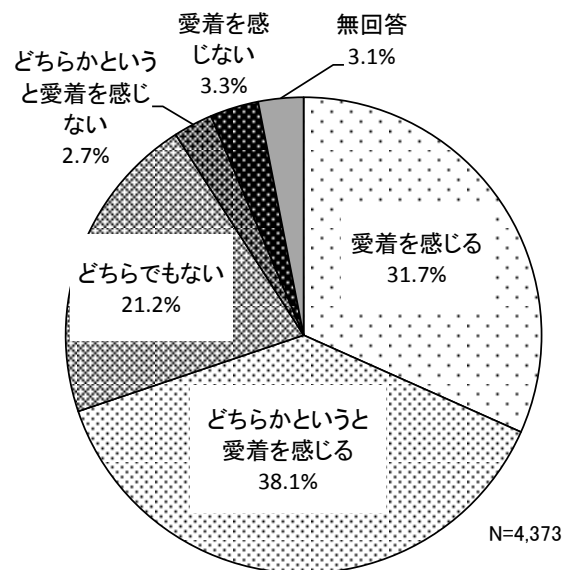
現在の地区での暮らしを「満足」「どちらかという満足」と感じている住民は、65.1%となっている。

年代が上がるにつれて暮らしへの満足度が上がっており、20代の「不満足」「どちらかという不満足」が10%を超えている。

《9》 居住地区への愛着

問2-9 居住地区への愛着を感じていますか。(1つ〇で選択)

	回答数(人)	割合(%)
愛着を感じる	1,385	31.7
どちらかという と愛着を感じる	1,668	38.1
どちらでもない	925	21.2
どちらかという と愛着を感じない	117	2.7
愛着を感じない	144	3.3
無回答	134	3.1
合計	4,373	100.0

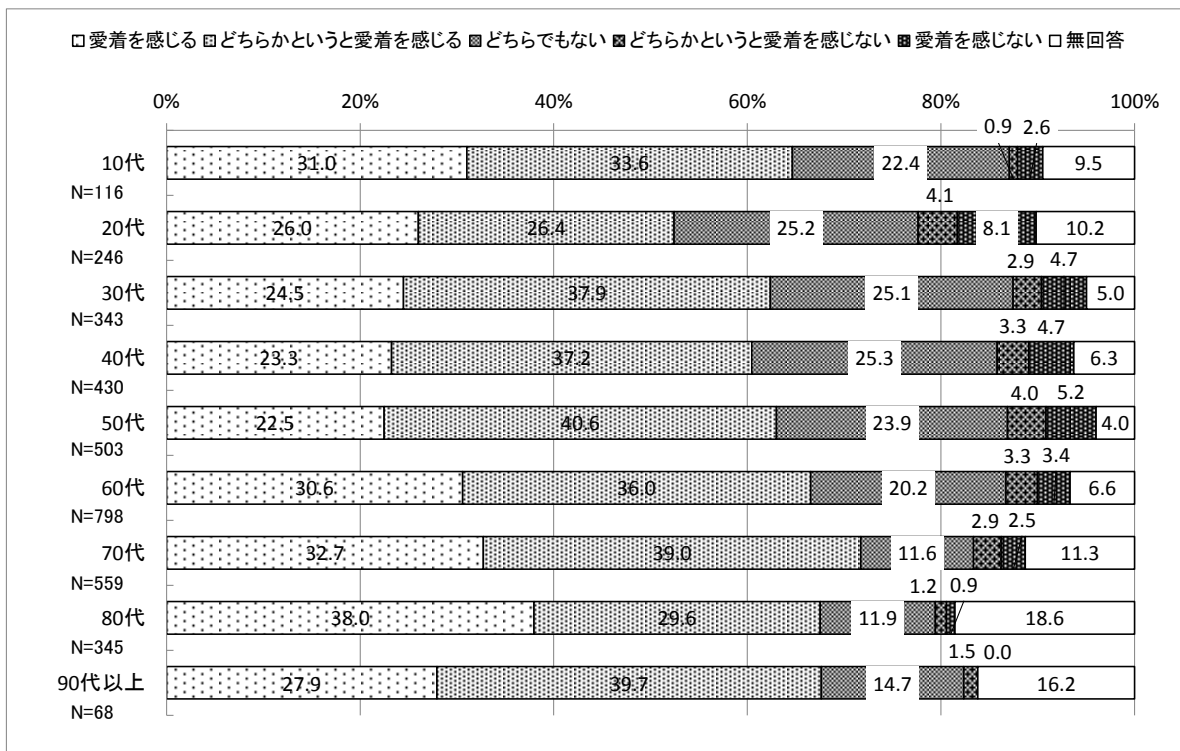
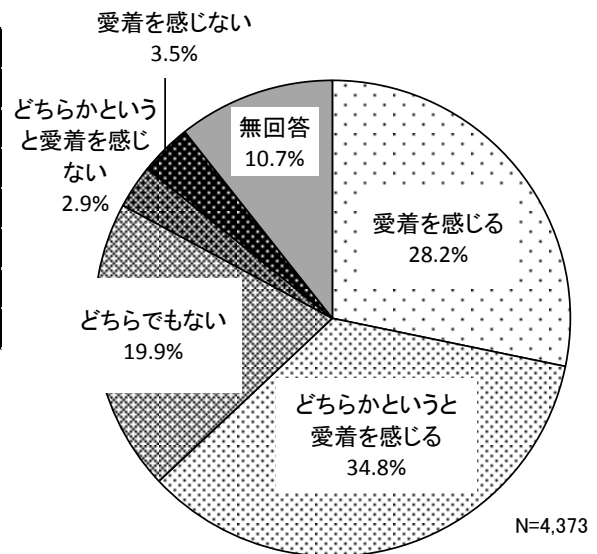


居住地区へ「愛着を感じる」「どちらかというと愛着を感じる」住民は、69.8%である。年代が上がるにつれて地区への愛着度が上がっており、70代以上では8割を超えている。

《10》 佐久穂町への愛着

問2-10 佐久穂町への愛着を感じていますか。(1つ〇で選択)

	回答数(人)	割合(%)
愛着を感じる	1,235	28.2
どちらかという と愛着を感じる	1,520	34.8
どちらでもない	869	19.9
どちらかという と愛着を感じない	129	2.9
愛着を感じない	154	3.5
無回答	466	10.7
合計	4,373	100.0



佐久穂町へ「愛着を感じる」「どちらかという
と愛着を感じる」という住民は63.0%で、居住地区への愛着(問2_9)より7ポイント近く低い結果となっている。

年代別に見ても、大きな差は見られない。

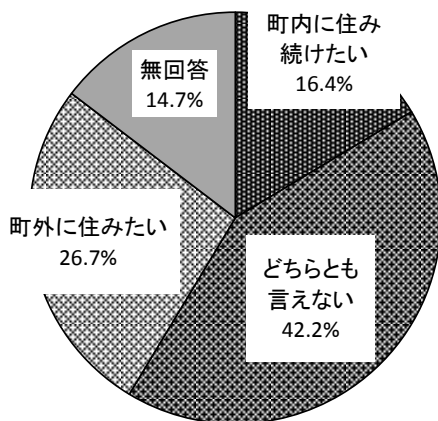
《11》今後の佐久穂町での暮らしについて

問2-11 (A) 今後の佐久穂町への定住・転出の意向／希望
 (B) 町外に転居した場合、また町に戻って住みたい／住んでほしいか
 (C) 戻ってきたい／戻ってほしいタイミング
 をお聞かせ下さい。(それぞれ1つ〇で選択)
 ※年齢が16～19歳の方とその保護者の方

(A) 今後の定住・転出意向／希望
 【16～19歳の方とその世帯の保護者の方】

【16～19歳】

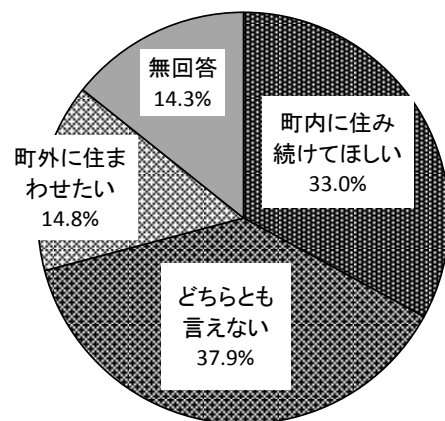
	回答数(人)	割合(%)
町内に住み続けたい	19	16.4
どちらとも言えない	49	42.2
町外に住みたい	31	26.7
無回答	17	14.7
合計	116	100.0



N=116

【16～19歳の方がいる世帯の保護者の方】

	回答数(人)	割合(%)
町内に住み続けてほしい	60	33.0
どちらとも言えない	69	37.9
町外に住ませたい	27	14.8
無回答	26	14.3
合計	182	100.0



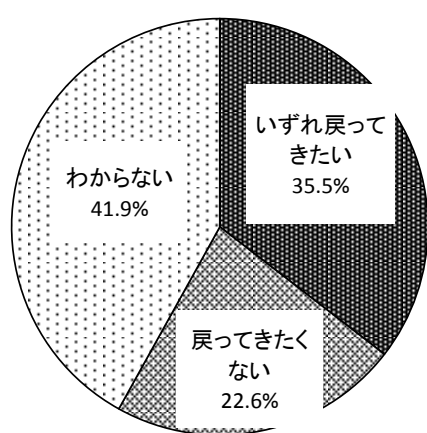
N=182

16～19歳とその保護者の定住／転出意向については、16～19歳の「町内に住み続けたい」「町外に住みたい」という回答と、保護者の方の「町内に住み続けてほしい」「町外に住ませたい」が、それぞれ2倍近い差となっている。

(B) 町外居住希望者の将来の U ターン意向／希望
 【16～19 歳の方とその世帯の保護者の方で、町外居住希望者】

【16～19 歳】

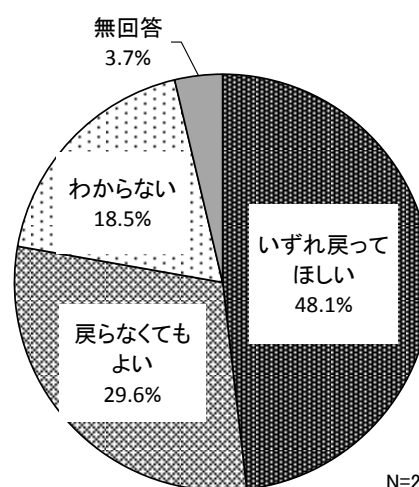
	回答数(人)	割合(%)
いずれ戻ってきたい	11	35.5
戻ってきたくない	7	22.6
わからない	13	41.9
無回答	0	0.0
合計	31	100.0



N=31

【16～19 歳の方がいる世帯の保護者の方】

	回答数(人)	割合(%)
いずれ戻ってほしい	13	48.1
戻らなくてもよい	8	29.6
わからない	5	18.5
無回答	1	3.7
合計	27	100.0



N=27

16～19 歳とその保護者の町外居住希望者の U ターン意向については、保護者の方の 48.1%が「(町外に住んでも) いずれ戻ってほしい」と考えている。

16～19 歳でも 35.5%が「いずれ戻ってきたい」と考えているという結果となっているが、「わからない」の回答が 41.9%とそれを上回っており、「わからない」の回答をいかにして「戻ってきたい」に変えられるかが、今後の課題と言える。

(C) 戻ってきたい／戻ってほしいタイミング

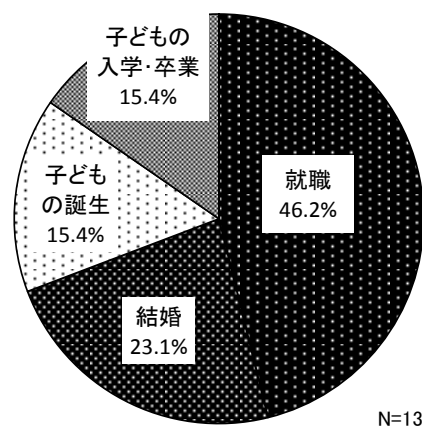
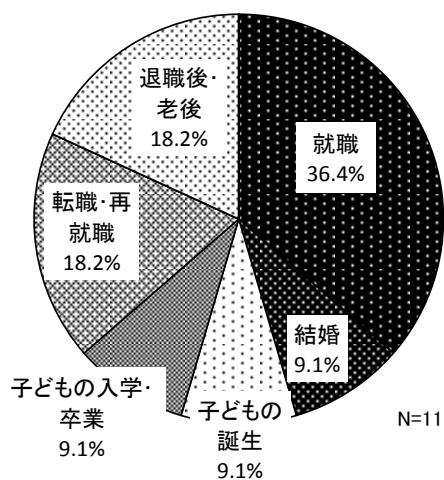
【16～19歳の方とその世帯の保護者の方で、町外居住希望者でUターン希望者】

【16～19歳】

	回答数(人)	割合(%)
就職	4	36.4
結婚	1	9.1
子どもの誕生	1	9.1
子どもの入学・卒業	1	9.1
転職・再就職	2	18.2
親の介護	0	0.0
退職後・老後	2	18.2
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	11	100.0

【16～19歳の方がいる世帯の保護者の方】

	回答数(人)	割合(%)
就職	6	46.2
結婚	3	23.1
子どもの誕生	2	15.4
子どもの入学・卒業	2	15.4
転職・再就職	0	0.0
親の介護	0	0.0
退職後・老後	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	13	100.0



16～19歳とその保護者の町外居住希望者でUターン希望者が、町に戻ってきたい／戻ってほしいタイミングは、「就職」「転職・再就職」をきっかけと考える住民が50.0%となっており、「子どもの誕生」「子どもの入学・卒業」が25.0%という結果となっている。

保護者としては、本人やその子どものライフイベントを機に、概ね10～20年以内に戻ってほしいと考える一方、16～19歳の方は、「退職後・老後」という回答が18.2%もいるなど、ギャップがある。